



～ロシアのごみ処理の改善とリサイクルの推進をしたい!!～

練馬区のごみ収集・資源回収・リサイクルを学ぶ

【事前のお知らせ】

とき 9月3日（火） 午前9時10分～午後3時

ところ 練馬清掃事務所、光が丘清掃工場、練馬区資源循環センター ほか

9月3日、ロシアの政府機関職員および民間企業経営者15名が練馬区を訪れ、区の廃棄物施策やリサイクル施策についての研修を受ける。この研修は、外務省の対ロシア技術支援OJT研修事業として東京二十三区清掃一部事務組合を通して練馬区に依頼があったもの。

練馬区は使用済み食用油（廃食用油）のバイオディーゼル燃料などへの資源化や、小型家電の回収・有用金属の再資源化事業など23区でも先進的な取り組みを行っていることから、「ぜひ練馬区を視察したい」との要望があり、実現した。

当日は練馬区内のごみの排出・収集の状況や大規模集合住宅のごみ保管庫の視察、光が丘清掃工場の見学などを行う。また、クイズ形式の環境学習により、区の資源・ごみの分別やリサイクルの取り組みについて分かりやすく紹介する。

区担当課は「今回の視察を、ロシアでの資源・ごみの分別の改善や今後の廃棄物処理施策に役立ててもらえれば」と話している。



視察イメージ(バンコク都職員による視察の様子:平成25年5月実施)

【視察受け入れの経緯と目的】

〔経緯〕

日本政府は、ロシアにおける経済改革の促進に向けた技術支援の一環として、ロシア国内の3都市（モスクワ、サンクトペテルブルグ、ニジニー・ノボゴロド）に「日本センター」を設置しており、企業経営者などを対象に日本でのOJT研修事業を実施している。その一環、で東京二十三区清掃一部事務組合を通して練馬区に研修依頼があった。

〔目的〕

大都市における廃棄物処理の実態や自治体のリサイクル施策の取り組み、地域住民の資源とごみ処理における協力姿勢の実例などについて視察や講義等を行い、ロシアの今後のごみ処理施策や資源のリサイクル施策の一助としてもらうこと。

【研修日程】（Bグループ）

※2つのグループに分かれ、Aグループは中央防波堤埋立処分場を視察する

〔午前〕 区の資源・ごみの収集現場の視察、光が丘清掃工場の見学など

〔午後〕 環境学習（クイズ形式の分別体験デモンストレーション）、資源循環センターの施設や取り組みの視察（粗大ごみの再利用化や、廃食用油のバイオディーゼル燃料化）



視察イメージ(バンコク都職員による視察の様子:平成25年5月実施)

【ロシアの廃棄物処理の現状】

収集したごみの大半は中間処理（焼却・破碎など）をせず、そのまま埋め立てられている。ごみの分別はない。

【問い合わせ】

環境まちづくり事業本部環境部清掃リサイクル課計画調整係 ☎03-5984-1095